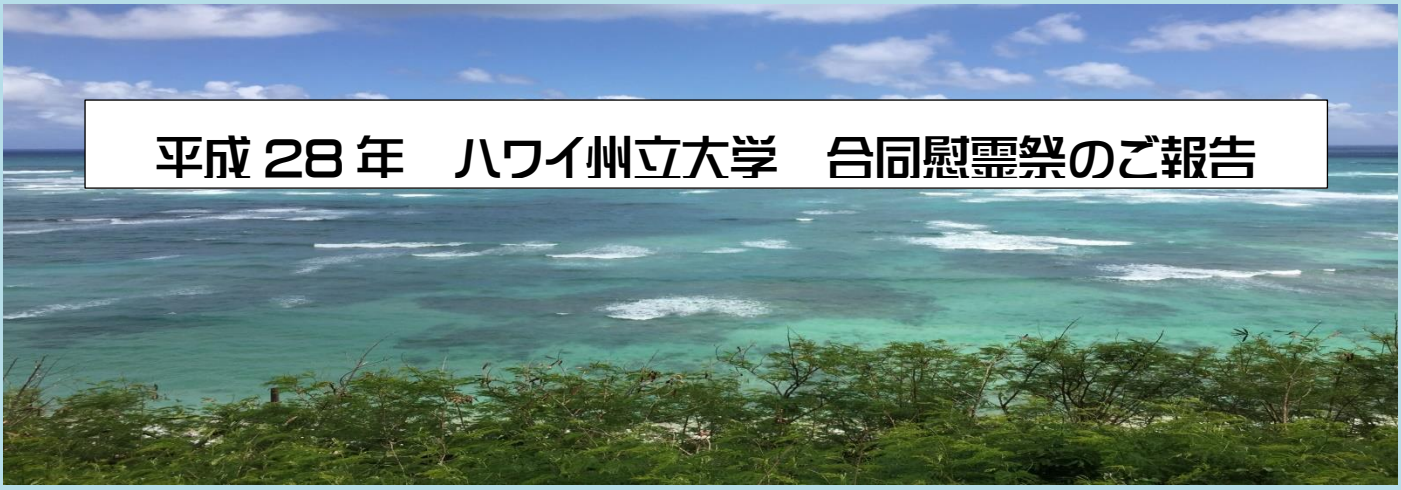


# 平成 28 年　ハワイ州立大学　合同慰霊祭のご報告

第 1 回解剖実習 2011 年、第 2 回解剖実習 2013 年、第 3 回解剖実習 2015 年と合計 3 回の解剖実習をハワイ州立大学で行うことができました。初回からいつか慰霊祭へ参列したいと思っておりましたが、やっと時間を作ることができました。大変遅くなりましたが、参加者皆様の代表も兼ね参列してまいりましたのでご報告いたします。

2016 年 4 月 9 日(土曜日)の 10 時からハワイ大学マノア校メインキャンパスの Campus Center Ball Room で慰霊祭は行われました。

◆午前 9 時(開催 1 時間前)に伺ったところスティーブンさんと医大生が会場準備し、奏者の方々も傍らで音合わせをしておりました。

今回もお花の代わりに折り鶴を70羽ほど持参して一番目立つところにお供えしました。　写真の中ではお位牌の前にあるカヌーのオールの先端に付けて参りました。
それと、髙山さんに翻訳していただいたお礼の手紙をスティーブンさんにお渡してきました。(^^)/

また、ご遺族やご友人が名前を確かめてお供えやお花を供えている光景は感謝の気持ちなのか目頭が熱くなり少し恥ずかしかったです。解剖実習中も感謝して行っていたつもりですが、不思議な感覚でした。

◆午前10時　慰霊祭

❀医大生、遺族による追悼セレモニー（1,000 人ぐらい）

❀医大生によるフラダンス

◆10 時から始まり 11 時 30 分ごろに Ball Room から 1 回の食堂に移動し立食形式の懇親会になりました。

食堂に移動中、偶然ロザノフ先生にお会いし、写真を撮ることができました。
それと、ロザノフ先生が名前を覚えていてくれたことに感激しました。

しかし、他お世話になった先生は誰も見当たりませんでした。

◆11 時 30 分から懇親会では若い医大生の皆さんがご献体の写真と生前の記録を記したボードの前で立っており、ご遺族の方が来るとお話をしたり、ボードを囲んで家族が写真を撮ったりしておりました。

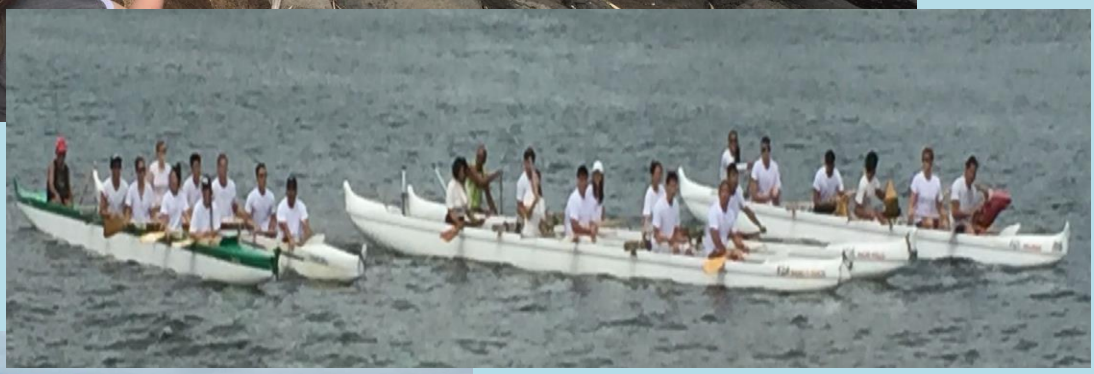
午前中のセレモニーは医大生を含めるとおよそ 1,000 人以上の参列者がいたと思います。参列者には、家族3代も多いため小さな子供も多く、献体をされた方は家族の絆や愛が強い方だったのかと想像しながら知り合いのいない私は一人で眺めておりました。それと、参列者にはセレモニーで流れていた故人の映像を DVD にして無料で希望者に送ることもしておりました。
この後は、午後2時からアラモアナショッピングセンター前のビーチに移動して散骨のセレモニーです。(^^)/

◆午後1時30分（散骨セレモニー30分前）セレモニー会場はアラモアナショッピングセンター前のビーチで
ハワイ大学マノア校から車で20分ぐらいでした。

◆午後2時20分　参列者が揃ったところからバグパイプの演奏が遺族の方を向いて始まります。そこから、岸の方へ隊は形を変えカヌーに乗って運ばれてくるご遺灰を迎えるような演奏を致します。

ハワイの強い貿易風に乗り、バグパイプの音色が
太平洋に飛んでいきます。♪♪～♪♪～
ここでは、ロザノフ先生をお見かけすることはありませんでした。

◆3時頃　5台のカヌーに乗ってご遺灰が運ばれて行きます。遺族の皆さんがお花を撒いたりしています。



解剖実習のサブタイトルのロカヒはカヌーチームの掛け声で団結という意味です。

◆3時30分頃　ご遺灰を海に撒いて終了です。このビーチの先端、マジックアイランドという岬は通行禁止の為、写真の方たちはロープを乗り超えて見送りに来ています。高齢の方、足腰が不自由な方はここまで来ることはできません。　ヒールを履いていたので私もやっとでした。

【あと書き】

　今回はハワイ大学とアポイントをとらず一参列者として伺うことで、ハワイの方々の気持ちを少しですが共有できたように思えます。大庭さんやその他のスタッフにはお会いできませんでしたがロザノフ先生、スティーブンさんに偶然お会いできた時は妙にうれしかったのも、3回の解剖実習を開催するうちにかけがえのない存在になっていたのかもしれません。

　それでは、皆さんのご健康とご縁が長く続くことを祈願いたします。(^_-)-☆